

長崎国際大学

春季公開講座

一般講座

2019年度春の公開講座では、国際観光学科、社会福祉学科、健康栄養学科、薬学科の教員、さらに企業との共同企画による一般講座5講座を開講します。幅広い年齢に応じた『暮らしや健康』をテーマとして考え・学ぶ講座です。

日程
【土曜日開催】

2019年(令和元年)

6/1^土・6/8^土・6/15^土・6/22^土・6/29^土

※詳細は裏面をご覧ください

時間

午前10時30分から100分(途中10分の休憩含む)

会場

長崎国際大学1101教室

定員

150人

受講料

無料

お申し込み方法

お名前、ご住所、お電話番号、ご希望の講座を電話・FAX・ハガキ・窓口にてお知らせ下さい(定員になり次第締め切ります)。

主催 長崎国際大学

後援

長崎県教育委員会

佐世保市教育委員会



こころはいつも新呼吸

ながさき県民大学連携講座

九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム



いつも、人から。そして、心から。

長崎国際大学

Nagasaki International University

申し込み・問い合わせ先／地域連携室

〒859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7

TEL:0956(39)2020 FAX:0956(39)3111

E-mail renkei@niu.ac.jp URL <http://www.niu.ac.jp>

アクセス：西肥バス長崎国際大学バス停車

またはJRハウステンボス駅下車徒歩15分・駐車場有

<予告> 秋季公開講座における学外講座についてのお知らせ

2019年10月10日(木)学外講座「メビウス航路」の開催を予定しております。佐世保湾、大村湾をクルージングしながら海から見る長崎県の再発見を体験する内容となっています。なお、お申込みについては次回の秋季公開講座チラシへの掲載(8月～9月頃)を予定しており、今回の春季公開講座での学外講座お申込みは行っておりませんのでご注意ください。

公開講座内容

※都合により講座内容などを変更する場合があります。ご了承ください。

6月1日(土) 「五十音図の謎を探ろう」

人間社会学部国際観光学科 講師 内田 智子

子どもたちが平仮名を覚えるときに使う「五十音図」には、知っているようで知らない謎がたくさん隠れています。五十音図はいつ誰が何のために作ったのでしょうか? どうして「アイウエオ」「アカサタナハマヤラウ」という順番なのでしょう? どうしてヤ行とワ行は空いているマスがあるのでしょうか? 五十音図がなくなったら、私たちの生活に支障はあるのでしょうか?

「五十音図」は、私たちに、日本語について様々なことを教えてくれます。江戸時代の五十音図、蘭学者の五十音図、明治時代の五十音図などを見ながら、五十音図の謎と日本語の歴史を紐解いていきましょう。

6月8日(土) 「ひきこもりの人たちの“願い”や“思い”と支援

—「8050問題」をみつめて—

人間社会学部社会福祉学科 講師 安藤 佳珠子

ひきこもり支援が注目を集めるようになり、20年弱が経ちました。これまで、ひきこもりは概ね30代までの若者の生活課題と認識されてきました。しかし、ひきこもりの長期化に伴い、親も高齢となり、生活が困窮するケースが少なくありません。これは最近、注目されている「8050問題」です。今一度、ひきこもり支援は、どのようなものであるのかについて、考え直す必要があります。佐世保には、ひきこもりの人たちの“願い”や“思い”を大切にしたい居場所があります。また、この居場所から、彼らのペースで働ける場も生まれています。そうした実践から、彼らの“願い”や“思い”、そしてひきこもり支援について考えていきたいと思えます。

6月15日(土) 「健康寿命を伸ばすための食事とお口の健康

～いつまでも楽しく美味しく食べる大切さ～

シニア向け講座

健康管理学部健康栄養学科 准教授 林 俊介

近年、健康寿命という言葉をよく耳にするようになりました。これは、健康上の問題で行動を制限されることなく日常生活を送れる期間を示しています。介護を必要とせず、できるだけ長く健康的に過ごすためには、日頃のお食事が大切です。お食事を自身のお口で美味しく召し上がることが、心にも身体にも好影響をもたらします。「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という取組が8020運動です。歯が多いほど健康寿命が長い傾向にあります。お口の健康状態を維持・向上することで、楽しく、美味しくご飯を食べ、健康寿命の延伸につなげたいところです。本講座では、食事とお口の健康、健康寿命を中心にお話しをしたいと思います。

6月22日(土) 「遺伝子の話 ～理想的な子供を「造りたい」ですか?～」

薬学部薬学科 教授 椋島 力

メンデルが、エンドウマメから遺伝の基礎となる法則（メンデルの法則）を発見してから約150年が経ちました。この間、遺伝子に関する研究は急速に進み、その研究成果は、病気の診断や治療、病原菌やウイルスの検出など、社会に多大な貢献をしています。

しかし昨年末、中国の研究者が、遺伝子操作をした双子の赤ちゃんの誕生に成功したと発表し、衝撃を与えました。この技術は、親が理想とする子供（例えば高い運動能力や知能を持つ子供）を造りだすという、倫理的な問題を含んでいます。

この講座では、遺伝子研究によってもたらされた恩恵とともに、今後起こりうる倫理的な問題についてもお話ししたいと思います。

6月29日(土) 「賢い水分補給で健康寿命をのばそう」

大塚製薬株式会社 長崎出張所 販売促進課 課長補佐 森岡 剛

日本人の平均寿命は男女とも過去最高齢を更新しましたが、本当の幸せとは健康状態でいつも笑顔で長生きすることです。これからも元気で笑顔で過ごしていくには? また、これから暑くなる季節で発症が増える熱中症。熱中症に対する予防のための日常での注意点、対策、および処置方法などを詳しく解説いたします。長崎県下において年間50以上の講演を実施しており、昨年もテーマ「乳酸菌によるインフルエンザ対策」にて講座を実施しました。今回の講座でも、受講者の皆さまに笑って幸せを呼びこむ内容にしたいと思います。